

水道事業ガイドライン業務指標(PI) (平成20年度)

区分	No.	P I 項 目 名	単 位	当該PI値	算 出 方 法
安 心	1001	水源利用率	%	70.3	$(\text{一日平均配水量} / \text{確保している水源水量}) \times 100$
	1002	水源余裕率	%	16.15	$[(\text{確保している水源水量} / \text{一日最大配水量}) - 1] \times 100$
	1101	原水水質監視度	項目	74	原水水質監視項目数
	1116	活性炭投入率	%	0	$[\text{年間活性炭投入日数} / \text{年間日数}] \times 100$
安 定	2003	浄水予備力確保率	%	46.4	$[(\text{全浄水施設能力} - \text{一日最大浄水量}) / \text{全浄水施設能力}] \times 100$
	2004	配水池貯留能力	日	0.12	配水池総容量 / 一日平均配水量
	2101	経年化浄水施設率	%	0	$(\text{法定耐用年数を超えた浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$
	2102	経年化設備率	%	87.2	$(\text{経年化年数を超えている電気・機械設備数} / \text{電気・機械設備の総数}) \times 100$
	2103	経年化管路率	%	0	$(\text{法定耐用年数を超えた管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$
	2104	管路更新率	%	0.00	$(\text{更新された管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$
	2105	管路の更生率	%	0	$(\text{更正された管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$
	2106	バルブの更新率	%	0	$(\text{更新されたバルブ数} / \text{バルブ設置数}) \times 100$
	2107	管路の新設率	%	0.00	$(\text{新設管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$
	2201	水源の水質事故数	件	0	年間水源水質事故数
	2202	幹線管路の事故割合	件 / 100km	0	$(\text{幹線管路の事故件数} / \text{幹線管路延長}) \times 100$
	2207	浄水施設耐震率	%	50.7	$(\text{耐震対策の施されている浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$
	2208	ポンプ耐震施設率	%	100.0	$(\text{耐震対策の施されているポンプ能力} / \text{全ポンプ能力}) \times 100$
	2209	配水池耐震施設率	%	67.1	$(\text{耐震対策の施されている配水池容量} / \text{配水池総容量}) \times 100$
	2210	管路の耐震化率	%	4.68	$(\text{耐震管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$
	2211	薬品備蓄日数	日	21.1	平均薬品貯蔵量 / 一日平均使用量
	2212	燃料備蓄日数	日	0.6	平均燃料貯蔵量 / 一日使用量
	2216	自家用発電設備容量率	%	65.9	$(\text{自家用発電設備容量} / \text{当該設備の電力総容量}) \times 100$
	2217	警報付施設率	%	100	$(\text{警報付施設数} / \text{全施設数}) \times 100$
持 続	3001	営業収支比率	%	112.5	$(\text{営業収益} / \text{営業費用}) \times 100$
	3002	経常収支比率	%	113.6	$[(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用})] \times 100$
	3003	総収支比率	%	113.6	$(\text{総収益} / \text{総費用}) \times 100$
	3004	累積欠損金比率	%	0	$[\text{累積欠損金} / (\text{営業収益} - \text{受託工事収益})] \times 100$
	3005	繰入金比率(収益的収支分)	%	3.2	$(\text{損益勘定繰入金} / \text{収益的収入}) \times 100$
	3006	繰入金比率(資本的収入分)	%	100.0	$(\text{資本的勘定繰入金} / \text{資本的収入}) \times 100$
	3007	職員一人当たり給水収益	千円 / 人	19.625	$(\text{給水収益} / \text{損益勘定所属職員数}) / 1000$
	3008	給水収益に対する職員給与費の割合	%	37.8	$(\text{職員給与費} / \text{給水収益}) \times 100$
	3009	給水収益に対する企業債利息の割合	%	8.1	$(\text{企業債利息} / \text{給水収益}) \times 100$
	3010	給水収益に対する減価償却費の割合	%	15.9	$(\text{減価償却費} / \text{給水収益}) \times 100$
	3011	給水収益に対する企業債償還金の割合	%	42.3	$(\text{企業債償還金} / \text{給水収益}) \times 100$
	3012	給水収益に対する企業債残高の割合	%	199.9	$(\text{企業債残高} / \text{給水収益}) \times 100$
	3013	料金回収率	%	110.0	$(\text{供給単価} / \text{給水原価}) \times 100$
	3014	供給単価	円 / m ³	118.9	給水収益 / 有収水量
	3015	給水原価	円 / m ³	108.1	$[\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費})] / \text{有収水量}$
	3019	施設利用率	%	43.7	$(\text{一日平均給水量} / \text{一日給水能力}) \times 100$
	3020	施設最大稼働率	%	53.6	$(\text{一日最大給水量} / \text{一日給水能力}) \times 100$
	3021	負荷率	%	81.6	$(\text{一日平均給水量} / \text{一日最大給水量}) \times 100$
	3022	流動比率	%	1791.2	$(\text{流動資産} / \text{流動負債}) \times 100$
	3023	自己資本構成比率	%	89.3	$[(\text{自己資本金} + \text{剰余金}) / (\text{負債} + \text{資本合計})] \times 100$
	3024	固定比率	%	103.6	$(\text{固定資産} / (\text{自己資本金} + \text{剰余金})) \times 100$
	3025	企業債償還元金対減価償却費比率	%	266.0	$(\text{企業債償還元金} / \text{当年度減価償却費}) \times 100$
	3026	固定資産回転率	回	0.06	$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / [(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2]$
	3027	固定資産使用効率	m ³ / 10000円	6.1	$(\text{給水量} / \text{有形固定資産}) \times 10000$
	3101	職員資格取得度	件 / 人	2.24	職員が取得している法定資格数 / 全職員数
	3102	民間資格取得度	件 / 人		職員が取得している民間資格取得数 / 全職員数
	3103	外部研修時間	時間	0.0	$(\text{職員が外部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) / \text{全職員数}$
	3104	内部研修時間	時間	0	$(\text{職員が内部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) / \text{全職員数}$
	3105	技術職員率	%	86.8	$(\text{技術職員総数} / \text{全職員数}) \times 100$
	3106	水道業務経験年数度	年 / 人	20.4	全職員の水道業務経験年数 / 全職員数
	3108	技術開発費率	%	0	$(\text{技術開発費} / \text{給水収益}) \times 100$
	3109	職員一人当たり配水量	m ³ / 人	165.082	年間配水量 / 全職員数
3208	監査請求数	件	0	年間監査請求件数	
3209	情報開示請求数	件	0	年間情報開示請求件数	
環 境	4001	配水量1m ³ 当たり電力消費量	kWh / m ³	0.69	全施設の電力使用量 / 年間配水量
	4002	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー	MJ / m ³	2.53	全施設での総エネルギー消費量 / 年間配水量
	4004	浄水発生土の有効利用率	%	100	$(\text{有効利用土量} / \text{浄水発生土量}) \times 100$
	4005	建設副産物のリサイクル率	%	19.44	$(\text{リサイクルされた建設副産物} / \text{建設副産物排出量}) \times 100$
	4006	配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量	g・CO ₂ /m ³	271.5	$(\text{総二酸化炭素(CO}_2\text{)排出量} / \text{年間配水量}) \times 106$
	管 理	5002	配水池清掃実施率	%	468.7
5003		年間ポンプ平均稼働率	%	29.20	$[\text{ポンプ運転時間の合計} / (\text{ポンプ総台数} \times \text{年間日数} \times 24)] \times 100$
5101		浄水場事故割合	10年間の件数 / 箇所	0	10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場総数
5102		ダクトイル鉄管・鋼管率	%	100	$[(\text{ダクトイル鉄管延長} + \text{鋼管延長}) / \text{管路総延長}] \times 100$
5103		管路の事故割合	件 / 100km	0	$(\text{管路の事故件数} / \text{管路総延長}) \times 100$
5104		鉄製管路の事故割合	件 / 100km	0	$(\text{鉄製管路の事故件数} / \text{鉄製管路総延長}) \times 100$
5110		設備点検実施率	%	350	$(\text{電気・計装・機械設備等の点検回数} / \text{電気・計装・機械設備等の法定点検回数}) \times 100$
5111		管路点検率	%	93.2	$(\text{点検した管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$
5112		バルブ設置密度	基 / km	5.99	バルブ設置数 / 管路総延長